

## 名古屋第二赤十字病院で診療を受けられる患者さんへ

### ～臨床研究に関する情報公開について～

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	内視鏡下移植腎採取術に関する研究		
研究実施予定期間	院長が研究実施を許可した日～（西暦） 2028年 12月		
研究実施診療科	移植・内分泌外科		
研究の倫理審査等	治験・臨床研究審査委員会審査日	2015年 4月 28日	
	院長が研究実施を許可した日	2015年 5月 12日	
対象となる方	対象期間内に、名古屋第二赤十字病院移植・内分泌外科において、生体腎移植にて手術を受けられたレシピエント様、ドナー様		
対象期間	（（西暦） 2008年 1月 ～（西暦） 2028年 12月		
研究責任者	所属	移植・内分泌外科	氏名 渡井 至彦
研究の意義	現在当院では生体腎移植ドナー様の手術侵襲の軽減、術後早期回復を目的として、内視鏡下ドナー腎採取術を行っています。内視鏡下移植腎採取術がドナー様の手術侵襲を軽減できても、ドナー様の合併症が増加したり、腎移植後の移植腎機能への悪影響があるようでは困ります。そこで、実際に、当院での手術術式が、ドナー様の合併症を増やすことなく、腎移植後の移植腎機能に悪影響を及ぼさずに行えているかの成績評価を行い、今後の診療に役立てます。		
研究の目的	現在、当院にて生体腎移植ドナー様に施行している内視鏡下移植腎採取術が、ドナー様の合併症を増やすことなく、さらに移植腎機能に悪影響を及ぼさずに安全かつ有効的に行えているかの成績評価を行います。		
研究の方法	当院で施行された、内視鏡下移植腎採取術の手術成績、ドナーの予後を検討します。さらに、レシピエントの手術成績、予後を含めて、移植腎への影響を検討します。		
研究に使用するもの	診療録から術前、術後の血液検査結果、手術記録を使用します。		
結果の公表	論文、学会発表予定です。		
個人情報の保護	個人情報は対象者が特定できない形で取り扱い、本研究以外の目的では使用しません。		
研究の資金源	本研究への資金提供はありません。		
利益相反	本研究に関する利益相反はありません。		

問い合わせ先	名古屋第二赤十字病院 移植・内分泌外科 平光高久 電話 052-832-1121 (代表)
--------	--